

平成 30 年度 田原小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

豊かな心や健やかな体を持ち、自ら考え、取り組み、判断し、新しい時代を創造的に生きる児童を育成する。

- (1) かしくく — よく考え がんばりぬく子ども
 (2) なかよく — すなおで 思いやりのある子ども
 (3) 元気よく — じょうぶで 明るい子ども

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

次代を担う児童一人一人が、社会的自立を果たして未来を創造的に生きていく力を身に付けることができるよう、教職員がそれぞれの持ち味を発揮しながら、家庭・地域と連携し、共に本校の教育を担う者として英知と熱意を結集することにより、一体感のある活力に満ちた教育活動を展開する。

児童の発達の段階や個人差に目を向けつつ、同時に、人としての成長は、望ましい集団の中で保障され、促進されることを重視し、常に「個」と「集団」の双方の視点を持ちながら、教育目標の達成を目指して、あるべき学校教育の姿を追求し続ける。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

(1) 居がいのある学校づくり

児童・教職員・保護者・地域・ボランティアなど、学校にかかわる誰もが自己存在感を実感できる学校づくりに努める。

(2) 創意ある教育課程の編成と地域とともにある学校づくり

児童・学校・地域の実態を踏まえ、知・徳・体の調和のとれた創意ある教育課程を編成し、教育目標の実現に努める。また、伝統ある校風を基盤に、児童と地域の実態や思いを踏まえるとともに、小中一貫教育・地域学校園や魅力ある学校づくり地域協議会と連携を図りながら、地域の教育力を生かした教育活動を推進する。

(3) 生きる力と社会性を育む教育実践

確かな学力と豊かな心、そして健やかな体をバランスよく育成するとともに、個人的資質及び公民的資質の伸長を図る。また、基本的な生活習慣と言語活動の充実、さらに道徳の実践的指導を推進する。

(4) 自己研鑽と組織的な学校運営の推進

教職員は情熱と使命感をもって、絶えず研修と修養に努め、共に学び合いながら、時代の要請に即応する教育の推進に努める。また、同僚性と自律性を基盤にした組織的な学校運営に努める。

(5) 地域とともにある学校づくり

地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開するとともに、地域の声を学校評価に生かし、学校経営の改善に努める。

[田原地域学校園教育ビジョン]

自らすすんで何事にも取り組む子どもの育成

4 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【 学 校 運 営 】

- ・地域社会との連携を図る教育活動を展開するとともに、積極的な情報の発信や学校の公開に努める。
- ・校内のさらなる情報の共有化を図ることにより、家庭や地域から「信頼される学校づくり」を推進する。

【 学 習 指 導 】

- 児童が主体的に追究する学習を通して、未知の状況に対応できる思考力、判断力、表現力等の育成に努める。
- ・自分の考えを伝えあい、共に学び合うことのできる児童の育成に努める。
- ・児童の主体的な家庭学習の実践を通して、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させる取組を推進する。
- ・道徳科の授業を柱とし、すべての教育活動において、自己肯定感や規範意識、思いやり、目標に向かって挑戦するたくましさなどの育成に努める。

【児童生徒指導】

- ・市及び本校のいじめ防止基本方針に基づき、「いじめゼロ運動」や心の教育を推進する。
- ・校内研修による個に応じた指導の充実や教職員の対応力の強化に努める。

【健康（体力・保健・食・安全）】

- ・自分の健康状態に関心を持ち、心身と心の健康増進に努め、健康な生活を実践しようとする児童育成の取組を推進する。

5 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
学校運営の状況	A1 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】全体アンケートの「私は今の学校が好きです」⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 学校評価や学校行事の反省等を生かし、児童が生き生きと活動する教育活動を行い、活気のある学校づくりに努める。 ② 集会活動・体験活動等を工夫し、児童が生き生きと主体的に活動できるよう努める。 ・縦割り班活動の充実 ・外部講師等による体験活動の充実 ・児童集会・音楽集会の充実 ③ 教育相談の機会を生かして、より良い人間関係づくりに努める。	B	【達成状況】 児童の肯定的回答は 91.2%で、指標を上回っている。保護者 96.0%、地域住民 100.0%であり、高い肯定的回答を得ている。 【次年度の方針】 ・今後も今年度の取組を継続していく。 ・縦割り班や集会活動等において、児童が主体的に活動する様子を積極的に発信していく。 ・係活動や委員会活動を活発化させ、一人一人が役割をもてるようにするなど、居がいのある学級経営を充実させていく。
	A2 教職員は、組織の一員として熱心に教育に当たっている。 【数値指標】全体アンケートの「先生方は、大切なことを熱心に指導してくれる」⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 全職員が学校経営に参画意識をもって、協力して教育に当たるように努める。 ② 児童一人一人をよく見取り、声をかけ、よく話を聞き、良いところは認め、指導すべき事はしっかり指導する。 ③ オープンスクール、授業参観等を工夫していろいろな学習の様子を公開し、学校理解を深めるよう努力する。	B	【達成状況】 児童の肯定的回答は 96.1%で、指標を上回っている。 【次年度の方針】 ・今後も今年度の活動を継続していく。 ・オープンスクールの各日程の目的を明確にして、さまざまな活動に取り組む児童の様子を公開する。 ・道徳科が新設された意味を教職員で共有し、道徳科の授業を丁寧に積み重ねていくとともに、授業参観で全学級一斉に、「道徳科」の授業を公開する。
	A3 児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。 【数値指標】全体アンケートの「授業と生活のきまりやマナーを守って生活している」⇒児童の肯定的回答 85%以上	① 学校でのきまりを徹底するために「田原小のやくそく」や「よい子の1日」を提示し、教職員が共通理解の下、繰り返し指導する。 ② 児童に「よい子の1日」に関する自己評価アンケートを実施し、重点項目を決め、それらを常に意識して学校生活が送れるよう指導する。 ③ ルールや約束を守る大切さや誠実に正直に行動するすばらしさ等について考えを深められるよう、道徳教育を充実させる。	B	【達成状況】 児童の肯定的回答は 86.3%で、指標を上回るとともに、昨年度より4ポイント上がった。保護者の肯定的回答も、昨年度より4ポイント程上がった。 【次年度の方針】 ・今後も今年度の活動を継続していく。 ・「よい子の1日」の中から決めた重点項目について、週目標に設定したり、全校集会の講話を開いたりして、常に意識しながら学校生活を送れるよう指導していく。 ・夏休み前に学級の目標に合わせて、振り返りを行い、自らきまりやマナーを守れるように指導していく。

<p>A 4 教職員は、分かる授業や児童にきめ細やかな指導を行い、学力向上を図っている。</p> <p>【数値指標】全体アンケートの「先生方の授業は、分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 「基礎学習の時間」において、漢字・計算・音読等を発達段階に応じて取り入れ、基礎的・基本的な内容の確実な定着が図れるよう努める。</p> <p>② 一人一授業研究を行い、「わかる・できる・楽しい」授業の工夫に努める。</p> <p>③ 「田原っ子の学び」を継続して、主体的に学習する態度を育てる。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の肯定的回答は 93.1%で、指標を上回っている。保護者の肯定的回答も昨年度より 2.3 ポイント上回った。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も今年度の取組を継続していく。 ・学力調査等の結果等から本校の課題を明らかにして、授業の中で重点として取り組む学習や「基礎学習の時間」の取組内容を検討し、実践する。
<p>A 5 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。</p> <p>【数値指標】全体アンケートの「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 年 4 回「いじめアンケート」を実施し、結果をもとに担任が教育相談を行い、解決を図る。解決が不十分な場合は、いじめ対策委員会による解決を図る。</p> <p>② 年 2 回の「いじめ根絶強化月間」に合わせ、標語・学級宣言文・個人の意見文を作成・掲示し、個々の児童の意識を高める。</p> <p>③ 「いじめ 0 なかよし集会」をオープンスクールで実施し、学校及び家庭・地域全体の意識を高める。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>児童の肯定的回答は 98.0%で指標を上回っている。保護者・地域住民の肯定的回答は、昨年度よりそれぞれ 10 ポイント上がった。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、教職員が連携して、いじめの早期発見、解決に努めていく。 ・児童会主催による「いじめゼロなかよし集会」等いじめの未然防止に向けた取組を充実させるとともに、その取組を授業参観等で積極的に公開し、家庭や地域住民と連携を図れるようにしていく。
<p>A 6 日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている</p> <p>【数値指標】全体アンケートの「私の学校生活や様々な活動は充実している」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 小中一貫教育の趣旨を踏まえ、夏季休業中の授業実施や土曜授業、日課を工夫することで授業時数を確保する。</p> <p>② 児童の主体的な活動や体験的な活動を取り入れ、行事ごとに評価を実施し改善を図る。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>児童の肯定的回答は 90.6%であり、指標を上回っている。保護者 99.0%，地域住民 100.0%であり、高い肯定的回答を得ている。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も今年度の取組を継続していく。 ・授業や体験的な活動について、見通しをもって計画的に指導を積み重ねていく。
<p>A 7 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われている。</p> <p>【数値指標】全体アンケートの「学校は、学校便りや学校公開等で、積極的に情報を発信・提供している」 ⇒保護者の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① オープンスクールや授業参観等を学期に 2 日以上実施し、保護者だけでなく、地域住民に向けても学校公開を積極的に行う。</p> <p>② 学校便りを毎月 1 回発行するとともに、ホームページを定期的に更新して、保護者や地域住民等多くの人に知らせる。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>保護者の肯定的回答は 97.5%であり、指標を上回っている。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も今年度の取組を継続していく。 ・「学校だより」をはじめ、各種「たより」を毎月ホームページにアップする。 ・オープンスクールの実施に関して、ホームページや地域学校園掲示板（田原中に設置）で広く周知する。
<p>A 8 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った学校づくりが推進されている。</p> <p>【数値指標】全体アンケートの「私は、地域や企業の方々と一緒に活動することで学習が充実し楽しい」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 「魅力ある学校づくり地域協議会」と連携し、学校・保護者・地域住民が一体となって、教育活動の充実と活性化を図る。</p> <p>② 授業ボランティア（地域の外部講師・街の先生）と連携した授業を計画的に実施し、その成果について児童と確認するとともに、広く情報発信する。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>児童の肯定的回答は 92.2%であり、指標を上回っている。保護者・地域も 95.0%を超えており、高い肯定的回答を得ている。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も今年度の取組を継続していく。 ・各教育活動や児童会主催の「感謝の会」を実施する中で、地域や企業の方々に協力いただいで、自分たちの学習が充実していることに気付けるように指導する。
<p>A 9 校内は、学習にふさわしい環境となっている。</p> <p>【数値指標】全体アンケートの「学校は、清掃が行き届き、荷物や備品等が整理整頓され、学習しやすい環境である」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 毎月、施設・設備の安全点検を実施し、修繕等を迅速に行い、学習にふさわしい環境づくりに努める。</p> <p>② トイレと水道周りは、常に清潔に維持できるように、使用法の徹底を図るとともに、清掃活動において重点的に指導する。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の肯定的回答は 97.0%で指標を上回っている。他の対象者の回答も 90%以上となっている。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も今年度の取組を継続していく。 ・教室及び特別教室の学習環境を整える。 ・特にトイレの清掃活動を重点的に指導していく。

教育活動の状況		A10 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】全体アンケートの「学校は、小学校と中学校が連携した『小中一貫教育・地域学校園』の取組を行っている」⇒保護者の肯定的回答 80%以上	① 田原中の生徒とともに、あいさつ運動を実施する。 ② 交流授業を実施する。 ③ 学校行事等において、中学生のボランティアを募り、児童と接する機会をつくる。 ④ 3校の教職員が協力して、小中学校において一貫した保健指導や食育等の取組を実施する。	B	【達成状況】 保護者の肯定的回答が 92.0%で、指標を上回っている。 【次年度の方針】 ・今後も今年度の取組を継続していく。 ・交流授業については、取組方法について検討していく。 ・図書館教育や学校事務においても連携を充実する。
		A11 多様な専門性を有する学校スタッフの活用により、教員の業務が縮減されている。 【数値指標】⇒教職員の肯定的回答 90%以上	① 教員が各スタッフの専門的な知識等を適宜活用できるように、各スタッフの業務内容を明確にするとともに、協力できることなどを明らかにしておく。 ② 教員が各スタッフと連携を図りながら複数人の体制で教育活動や指導等に当たれるようにする。	B	【達成状況】 教職員の肯定的回答は 90.5%で、指標を上回っている。 【次年度の方針】 ・今後も今年度の取組を継続していく。
		A12 教員は多様な専門性を有する学校スタッフと円滑なコミュニケーションが図れている。 【数値指標】⇒教職員の肯定的回答 90%以上	① 授業や児童指導の相談・依頼をしやすくするために、各スタッフの専門性に応じて業務内容を明確にする。 ② 授業等への参画については計画的に位置付け、打合せ等の時間を確保できるようにする。	B	【達成状況】 教職員の肯定的回答は 95.2%で、指標を上回っている。 【次年度の方針】 ・今後も今年度の取組を継続していく。
		B1 学校は、事故防止・安全対策に努めている。 【数値指標】全体アンケートの「学校は事故防止や安全対策に積極的に取り組んでいる」⇒保護者の肯定的回答 90%以上	① 月1回の全校下校、毎日の学年下校、交通安全教室、不審者対応避難訓練、引き渡し訓練を実施する。 ② 家庭・地域との連絡体制(田原小安全対策連絡会による防犯パトロール・子ども110番の家・保護者、地域への情報提供)を継続し実施する。	B	【達成状況】 ・保護者の肯定的回答は 90.4%で、指標を 0.4 ポイント上回っている。教職員、地域住民、児童の肯定的回答もすべて 90%を上回っている。 【次年度の方針】 ・今後も今年度の取組を継続していく。 ・保護者や地域住民に学校の取組を発信していく。 ・「防犯パトロール」及び「子ども110番の家」事業について、体制を強固にしていく。 ・PTAと連携して安全対策連絡会議を実施し、「防犯パトロール」協力者の情報交換の場を確保する。
	生徒生活	A13 児童は、進んであいさつをしている。 【数値指標】全体アンケートの「児童は、時と場に応じたあいさつをしている」⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 地域学校園で設定したあいさつ週間の実施方法を工夫するとともに、PTA 生活指導部が参加するあいさつ運動を実施する。 ② 地域協議会と連携し、あいさつ標語を募集し、優秀作品を掲示する等して、あいさつへの関心・意欲を高める。 ③ 「時と場」、「相手」に応じたあいさつの仕方について、具体的に指導する。	B	【達成状況】 児童の肯定的回答は 95.6%で、指標を上回った。地域住民の肯定割合が、昨年度比で、12 ポイント上回った。 【次年度の方針】 ・今後も今年度の取組を継続していく。 ・運営委員会や各学年の児童によるあいさつ運動を工夫して実施していく。 ・集会時のあいさつでは、あいさつの仕方やあいさつに込める思い等を代表児童が全校児童に伝える機会をつくる。
		A14 児童は、正しい言葉づかいをしている。 【数値指標】全体アンケートの「児童は、時と場に応じた言葉づかいをしている」⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 気持ちよい言葉づかいや返事について共通理解を図るとともに、日常的な指導を繰り返し実施し、保護者にも協力を呼びかける。 ② 職員室入室時のあいさつ訓練等「時と場」、「相手」を具体的に意識させながら指導する。	B	【達成状況】 児童の肯定的回答は 85.3%であり、指標を上回っている。地域住民の肯定的回答が、昨年度から 17 ポイント上がった。 【次年度の方針】 ・引き続き、「場面」と「相手」を明確に示し、授業中と休み時間における言葉づかいの使い分けや、来校者への丁寧な言葉づかい等、場面ごとに具体的に指導していく。 ・気持ちの良い返事や言葉遣いをする大切さについて、相手への思いに触れながら、繰り返し指導していく。

健康・体力	<p>A15 児童は、進んで運動する習慣を身に付けている。</p> <p>【数値指標】全体アンケートの「児童は休み時間や放課後等に進んで運動している」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 元気っ子健康体力チェックの結果等をもとに、定期的に重点運動を決めて、児童がめあてをもって運動に取り組めるようにする。</p> <p>② 縄跳び、水泳、鉄棒の検定カード活用等、体力や技能を向上させるための取り組みを年間通して実施する。</p> <p>③ たわらの時間や昼休みに外遊びを奨励する。</p> <p>④ 元気っ子健康体力チェック等の結果について学級懇談や各種たより等を通して保護者に知らせ、放課後・休日の屋外遊びを奨励する。</p>	<p>A</p> <p>【【達成状況】】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の肯定的回答は 84.3%で、指標を上回っている。保護者、地域住民の肯定的回答が80%に届いていない。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も今年度の取組を継続していく。 ・元気っ子健康体力チェックの前後に学校全体としてたよりを出し、運動の推進を図る。
	<p>A16 児童は、栄養のバランスを考えて食事をしている。</p> <p>【数値指標】全体アンケートの「児童は、好き嫌いをなく給食を食べている」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 栄養職員と連携した食育に関する授業を計画的に実施するとともに、保護者が参観できる機会をつくる。</p> <p>② 給食便りを毎月発行したり、親子参加型講習会を実施したりすることで、家庭の意識の高揚を図る。</p> <p>③ 家庭と連携を図り、「お弁当の日」を実施する。</p>	<p>A</p> <p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質問項目に「嫌いなものでも1口は食べている」が追加されたことにより、肯定的回答が大きく伸びており、児童の肯定的回答は 88.7%で、指標を上回っている。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も今年度の取組を継続していく。 ・へるしー集会やたべるんじゃ一隊の活動を保護者に公開するなどして積極的に啓発していく。
	<p>B3 児童は、自分の健康のために、手洗い・うがい・歯磨きを進んでいる。</p> <p>【数値指標】全体アンケートの「自分は、健康のために、手洗い・うがい・歯磨きを進んでいる」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 保健便りを発行し、健康な生活習慣を身に付けるための情報発信をする。</p> <p>② 外遊びや給食の後に、担任等が繰り返し声をかけるとともに、養護教諭がミニ保健指導を行う。</p> <p>③ 歯磨きカレンダーを活用した取り組みを工夫し、家庭との連携を図れるようにする。</p>	<p>A</p> <p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の肯定的回答は 87.3%で指標は上回っているものの、昨年度より 6.9 ポイント下がった。保護者の肯定的回答は 78.7%で昨年度より4ポイント上がった。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の取り組みを継続していく。 ・歯科に関しては、一人一人の状況を示す通知の配付、学年等の傾向を示す掲示物の作成などに取り組み、それらの資料を学級での指導に生かしていく。
学習等	<p>A17 児童は、進んで学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「児童は授業中に進んで話し合い、分かりやすく発表する等、積極的に学習している」 ⇒児童の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 休み時間のうちに次の授業の用意をする指導を徹底する。</p> <p>② 学び合いの活動を積極的に取り入れる。</p> <p>③ 児童がめあてと見通しをもって授業に主体的に臨み、まとめと振り返りまで確実にに行える授業を実施する。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の肯定的回答は 88.2%で、指標を上回っている。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学び合いの活動や、まとめと振り返りができる授業など今年度の取組を継続していく。 ・今後も「田原っ子の学び」を全教職員で共有し、児童の主体的に学ぶ態度を育てる。 ・児童が主体的な話し合いを通して、深く学べるように、観点を明確にしたり、形態を工夫したりしていく。 ・①については、A18の取組内容とする。
	<p>A18 児童は、落ち着いて学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「児童は授業中に先生や友達の話をよく聞く等、落ち着いて学習している」 ⇒児童の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① チャイムの合図で授業を開始・終了する。</p> <p>② 授業中の姿勢、話を聞くとときや話し合いをするときの態度等、授業におけるルールを確立し、繰り返し指導する。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の肯定的回答は、86.8%で指標を上回っている。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の取組を継続していく。 ・授業での発表の仕方、友達の意見の受け止め方、話し合いのルール等、学習時の約束を明確にし、全教職員共通理解のもと、丁寧に指導を重ねていく。 ・A17の①の取組内容を入れる。

	<p>A19 児童は、地域でのボランティア活動や行事に参加している。</p> <p>【数値指標】全体アンケートの「児童は、地域でのボランティア活動や行事に参加している」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 保護者・地域住民等と連携し、地域でのボランティア活動の募集や行事の開催に関する情報を入手し、積極的に児童・保護者に発信する。</p> <p>② 道徳教育において、「勤労・奉仕」や「郷土愛」「社会連帯」等について考える。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>児童の肯定的回答は 79.9%で、指標をわずかに0.1ポイント下回った。保護者・地域住民ともに肯定割合は60%台にとどまった。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・道徳教育の中で、地域の行事やボランティアに参加することの意義を児童に伝えていく。</p> <p>・地域の行事やボランティアに参加することの意義について保護者にも理解していただけるように、学級懇談会で触れたり、学年だよりで取り上げたりして伝えていく。</p>
	<p>B2 児童は、家庭学習の習慣が身に付いている。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「私は、宿題や自主学習を進んで行っている」 ⇒児童の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 毎日宿題を出す。</p> <p>② 模範的な自主学習の内容を紹介したり、「自主学習のすすめだより」を発行したりすることで、自主学習の内容の充実を図る。</p> <p>③ 「家庭学習のすすめ」を通して家庭の理解・協力を得る。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>・児童の肯定的回答は、89.2%で、指標を上回っている。保護者の肯定的回答は、81.0%であり、昨年度より下回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・今後も今年度の取組を継続する。</p> <p>・学級懇談会で日頃の取り組み状況や工夫した取組事例などを全学年共通の話題として取り上げたり、学年としての取組を話したりして、保護者の協力を得られるようにする。</p>
	<p>B4 本を読むことの楽しさや大切さがわかる。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「私は、進んで読書をしている」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 朝の読書（朝の活動）を週2回実施する。</p> <p>② ボランティアによる「読み聞かせ会」をクラスごとに年間を通して計画的に実施する。</p> <p>③ ふぁみりー読書を奨励する。</p> <p>④ 行事予定の第3土曜日に「家読の日」と入れるとともに、自主学習表に「家読」の時間と書籍名を記入する欄を設ける。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>・児童の肯定的回答は 79.9%でわずかに指標に及ばなかった。保護者の肯定的回答は70.1%であった。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・今後も今年度の取組を継続していく。</p> <p>・図書開館日を工夫して利用しやすくしていく。</p>
本校の特色・課題等	<p>B5 地域の特色を生かした学習の充実を図ることにより、地域を愛する心が育っている。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「私は、地域や企業の人たちと一緒に、地域の自然や文化等について学習をして、田原の地域のことが好きになった」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 保護者・地域社会との連携を図り、体験活動を重視した地域の特色を生かした学習等を実施し郷土愛の育成を図る。</p> <p>② 地域の方の思いや地域の特色を感じられるように、地域の方に地域への思いをお話いただくとともに、活動の振り返りの時間を確保するなど、指導を工夫する。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>・児童の肯定的回答は 84.8%で指標を上回っている。保護者 93.9%，地域住民 91.3%であり、高い割合を得ている。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・今後も今年度の取組を継続していく。</p> <p>・各活動のねらいを系統的に捉え、地域の方の思いや願いに触れられるように指導を工夫する。</p>

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

【学校運営】

- ・学校運営に関する質問項目については、総じて指標を上回っているため、この状況を維持できるよう努めていく。
- 校内における情報の共有化とともに、地域学校園での目標・目的の共有化に努め、小中学校9年間を見通した教育活動を展開できるようにし、「信頼される学校づくり」を推進していく。
- ・これまで実施している教育活動について、保護者や地域住民の理解を深められるよう、家庭への情報発信を工夫していく。

【学習指導】

- ・昨年度に引き続き、「自主学習ファイルの活用」や「年3回の『家庭学習がんばり週間』の実施」などの家庭学習の推進に取り組んできたため、家庭学習の習慣化が図られてきている。
- 「田原っ子の学び」を授業に取り入れることで、学び合いの場が設定され、自分の考えを伝え合い共に学び合う児童の姿が多く見られるようになってきた。
- ・学校課題として道徳の授業を研究し、友達の思いや立場を考えて意見をまとめたり、日頃の自分を振り返って考えたりする様子が見られた。

【児童指導】

○全体的にきまりやマナーを守って落ち着いて生活している様子が見受けられるが、今後も引き続き、「田原小よい子の1日」を活用し、指導を継続していく。

○「あいさつ」については、「後より先に顔を上げて」の頭文字をとった「あさがおあいさつ」を推進したり、時と場を具体的に示して指導したりした。「あいさつ」と「言葉づかい」の児童の肯定的回答が、ともに上昇した。今後も、取り組みを継続し、「あいさつ」や「言葉づかい」について、心と形（実践）の両面から指導していく。

・児童の「いじめは絶対に許されない行為」という認識は高く推移している。また、「教職員はいじめ対策に熱心に取り組んでいる」と肯定的に回答した保護者や地域住民の割合が、昨年度に比べ、ともに10ポイント上がった。いじめゼロ集会など、学校で取り組んでいる「いじめの未然防止に向けた取組」を充実させるとともに、その取組をオープンスクールなどで保護者や地域住民に公開するなど、学校の取組を積極的に発信していく。

【健康指導】

○地域学校園で共通して実施している“たべるんジャー”，“給食マナー月間”，“朝食メニューおすすめレシピ作り”，“お話し給食”，“共通献立”などを継続し、より一層、映像や写真を用いながらの情報公開をしていくことにより、食への啓発を進めていく。

・学校全体は安全に整とんされ、教材教具が分かりやすく置かれるなど学習しやすい環境になっている。しかし、児童や教職員の人数が減少しているため、清掃が行き届かなくなることが考えられるので、清掃班編成の仕方や分担、清掃方法などを見直していく必要がある。

・学校全体として、児童の運動能力については非常に高く、休み時間等の外遊びも活発である。しかし、放課後や休日についてはあまり外遊びができていない状況が見られるため、さらに外遊びの大切さについて家庭に向けて情報発信をしていく必要がある。

6 学校関係者評価

【学校運営】

・本校の教育目標は未来を担う子供たちへの人格づくりを目指したものであり、知識を叡智として活動できる社会人づくりの基礎をしっかりと教える基本となっている。

・教師と児童の信頼関係ができており、共に、いきいきと活動している様子がみられる。

・オープンスクールや授業参観、学校だより、ホームページ等で積極的に情報が発信されているので、学校の様子がよく分かる。

【児童指導】

・挨拶については、「よくなってきた」とする意見が多いが、「課題がある」とする意見もみられた。相手に気持ちが伝わってこそその挨拶であることを踏まえ、今後も学校、家庭、地域が一体となった継続的な指導が必要である。

・いじめ対策については、「いじめゼロ集会」の公開や「いじめゼロに向けたスローガン」の掲示等により、学校が熱心にいじめ対策に取り組んでいることが分かった。

・地域の行事への参加については、地域の行事や郷土に伝わる伝統を児童に伝えていきたいと考えているので、学校でも身近な社会に参加する喜びや大切さを伝えてほしい。地域行事を学校に伝達し、参加を促すなど、地域と学校が連携していくことが大切である。

【健康指導】

・手洗い・うがいについては、児童の肯定的回答の減少が気になる。取組の強化を考える必要がある。

・家庭における室内遊びが増えていることを踏まえた対策が必要である。

・各教室がきれいに整頓されている。

【学習指導】

・教職員は創意工夫した教材を使って自信をもって授業を行っており、児童は落ち着いて授業に臨んでいる。

・家庭学習の習慣化については、自主学習ファイルやがんばり週間の設定などにより、よい状態が保てているが、1・2年生はなかなか自主学習の内容を考えつかないので、宿題の比率を高くするとよい。

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

・学校経営の理念のもと、継続的な取組を重ねてきた結果、成果が現れてきていることから、基本的に次年度も今年度の取組を継続していく。

・児童の健全育成のためには、家庭・地域との連携が欠かせないため、学校での取組を理解していただけるよう、工夫して情報公開に努めていく。

- ・学校が保護者や地域の方から多くの協力を得て、児童自身が住む地域について学べることは児童にとっても地域にとっても有意義なことであるので、今後も取組を継続・充実させていく。
- ・今後も学校と家庭、地域が目的を共有しながら連携した取組を充実させることで、児童の心身ともに健やかな成長を目指していく。